

R 元年 10 月 5・6 日(土・日)

テーマ : 糖尿病重症化予防 (フットケア)

講師 : 金本純子先生 橋本市民病院、  
山本美子先生 和歌山県立医科大学附属病院  
小畑香寿美先生 済生会有田病院  
山崎亨子先生 紀和病院  
甲斐真紀子先生 南奈良総合医療センター

: 糖尿病看護認定看護師

古田浩人先生 和歌山県立医科大学 准教授  
藤原優子先生 大阪大学医学部附属病院 看護師長

場所 : 看護研修センター

参加者 : 30 名

9:00~18:10 が 2 日間という非常に長い研修会だった。糖尿病療養指導士資格更新研修として認定されており、決められたカリキュラムで進めた。

講師も 7 名の方が担当してくれて、講義・グループワーク・演習・発表と盛りだくさんで、充実した 2 日間だった。



講義風景



アセスメントのグループワーク 1G にひとりのファシリテーターが就いてアドバイス



足の観察から爪切りまで、ファシリテーターによる細やかな指導



研修のところで発表

R 元年 10 月 7 日(月)

テーマ : 新人のための医療安全

講師 : 伊都香先生 和歌山労災病院  
看護師長

場所 : 看護研修センター

参加者 : 89 名

午前は講義で、「リスクマネジメントとは」から始まり「新人看護師がおこしやすいエラー」などを学習した。

午後はグループワークでKYTを行い、いろいろな場面設定で危険を予知していた。



講義中



グループワークでは、事例を見ながら危険を予知している



発表中



発表の後は、スクリーンを見ながら解説してくれた

R 元年 10 月 9 日(水)

テーマ : 実践に活かす！小児看護

講師 : 狗巻見和先生 和歌山県立医科大学附属病院  
小児看護専門看護師

場所 : 看護研修センター

参加者 : 27 名

小児の発達段階から在宅療養支援の実際まで講義してくれた。  
成人と乳幼児の違いは？ 親子関係のアセスメントは？ 支援体制は？ などを説明してくれた。



講義中

子供では、歯の観察が大切！

∴歯石が多すぎて窒息することもあるらしい！

研修会では珍しく、最後に質問をしてくれる受講生があった。

皆の前での質問は、やりにくいかも知れないが、受講生全員で共有できる。

これからの研修会では、是非とも質問をお願いします。

R 元年 10 月 16 日(水)

テーマ : 救急患者の基礎病態を理解する  
— 根拠を踏まえて看護実践に繋げる —

講師 : 上葛順子先生 北出病院  
救急看護認定看護師

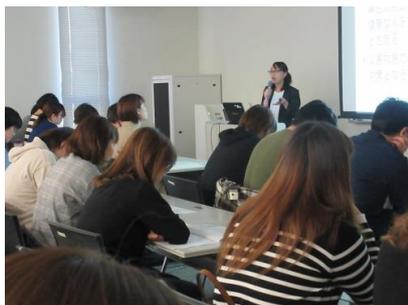
場所 : ビッグ U (田辺市)

参加者 : 72 名 (内 2 名早退)

講義と途中演習を入れながら進めた。

「患者さんが訴える呼吸困難はどのように表現されるか？」まずは、ひとりで考えて、その後隣の人と話し合い。

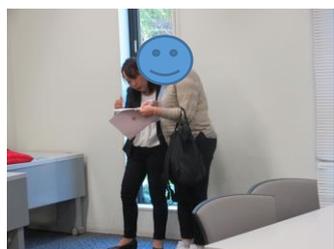
演習も活発で、資料への書き込みも多くしていた。



講義中



隣と相談中  
話し合ったことを資料に  
書き込み



先生に質問中

休憩時間・講義終了後など長い列ができるほどの質問者。

毎日、悩みながら仕事をして、困っていることが多い様子。

昼食時間も先生はゆっくり休憩もできないほどの質問者だった。

先生は快く質問を受けてくれていた。  
ありがとうございました。

R 元年 10 月 22 日(火)

テーマ : 現場で活かせる予防的・治療的スキンケア

講師 : 藤本由美子先生 和歌山県立医科大学保健看護学部  
特任教授

場所 : 看護研修センター

参加者 : 116 名 (内 2 名早退)

即位の礼で祝日になった日の研修。

配布資料がとても詳しく、受講生は自施設での伝達講習もしやすいと言われていた。

講義に使われていた写真もきれいで、わかりやすかった。



非常に多くの受講生がきれいな画像が映されていたスクリーンに釘づけ状態。

画像が多かったので、細かいところや色が見えやすいように、教育委員が細目に電気をつけたり、消したりしてくれた。

褥瘡の予防とケアでは、実際の写真を  
使って説明。

おむつの使用方法についての講義もあ  
った。

休憩時間、研修会終了後質問の列が絶  
えなかった。

夕方は 17 時近くまで、先生が残っ  
て質問に対応。また、皮膚・排泄ケア  
認定看護師の教育委員も一緒に質問  
に対応してくれた。



スキンケアとは？

R 元年 10 月 26 日(土)

テーマ : 明るい看護の職場づくりのために  
—管理者のための職場ハラスメントの基礎知識—

講師 : 彦田美香子先生 (株) ジーシフト  
取締役社長

場所 : 看護研修センター

参加者 : 42 名

研修までに事前アンケートを実施。

「管理者としてハラスメント（パワーハラスメント、セクシャルハラスメント、マタニティハラスメント、モラルハラスメント他）に関して、不安や問題と感じていることは何ですか？」など 4 項目のアンケートを先生に提出。研修会では、そのことに触れながら講義してくれた。

まずは、笑顔チェックと挨拶から。  
いろいろな人と挨拶をしましょう。



職場のパワーハラスメントの  
判断基準として 3 つの要素が  
あり、3 つ全部を満たすと  
パワハラと認定される。

## ハラスメントとは？

世の中にはいろいろなハラスメントがあり、40~50 あるそうです。

パワーハラスメント、  
セクシャルハラスメント、

受講生はどんなハラスメント  
に悩んでいたのでしょうか？

ハラスメントの予防と解決策は・・・

ハラスメントの被害を受けた人・ハラスメントをした人が、  
引き続き同じことを行わないために解決策を考えることが大切

最後はハイタッチで終了！

